

## 市内関係団体等へのヒアリング結果 まとめ

1 実施期間 令和3年10月～12月

2 ヒアリング団体等

- ・(一社) 福井県自動車整備振興会大野支部
- ・株式会社グリーンパワー
- ・協同組合大野石油センター
- ・福井県農業協同組合奥越旗幹支店
- ・大野市木材協同組合
- ・九頭竜森林組合
- ・福井県電気工事工業組合奥越支部
- ・ニチコン大野株式会社
- ・越前信用金庫

3 ヒアリング結果 現状と課題、脱炭素に向けた提案

●産業部門・業務部門

- ・(現状) 国の脱炭素関連補助事業等の情報は、業会の中央団体やメーカー、監督省庁から得ている。
- ・(現状) 国庫補助を活用して、自社工場のLED化等に取り組んでいる。業会の中央団体提供の業務の省エネ化指針などもある。

・(提案) ESG投資関連の商品化

【農業】

- ・(現状) トラクター等農耕車両のEV化はまだまだ先。
- ・(課題) 担い手不足。山際など耕作がしにくい農地の荒廃化が進んでいる。
- ・(提案) ドローンなどを活用したスマート農業。
- ・(提案) 耕作地の集落内集約により農耕車両移動距離を短縮。
- ・(提案) 化学農薬、化学肥料を使わない有機農業の促進。

【林業】

- ・(現状) A材はほとんど採れない。
- ・(現状) 間伐材等の木材は、木質バイオマスの減量にするか、チップ化するなどしてパルプ製造会社に販売している。
- ・(課題) 民有林の施業しやすい区域は概ね間伐等は完了した。分収造林など新たな施業区域の確保が課題
- ・(課題) 県産材活用補助は、手続きが煩雑
- ・(提案) 地域に合った木材は、その地域で育った木材。地域内での地元林材の活用

●民生部門（家庭の太陽光発電パネル、蓄電池、住宅）

- ・（現状）十数年前は需要があったが、近年、太陽光発電パネルの設置需要はほとんどない。
- ・（現状）太陽光発電パネル設置者のうち、経済的メリット重視が2/3、環境貢献目的が1/3。環境意識が高い人はすでに設置済み。FIT制度の買取価格が下がったので、事業採算性が見込みにくく、普及は難しい状況にある。
- ・（現状）一般家庭の昼間電力消費量が少ないので、自家消費するためには蓄電池が必要だが、蓄電池は価格が高いこともあり需要は少ない。
- ・（現状）日照量は少ないものの発電効率は、問題ない。
- ・（現状）近年の豪雪時に、積雪によるパネル破損などの被害が多かった。大野市は豪雪地帯に入るため補償対象にしていないメーカーが多い。
- ・（提案）ヒーター機能付き太陽光発電パネルによる屋根融雪との同時解決。
- ・（現状）人口減少下でも世帯数は減っていない。若年世帯が新築するケースがほとんど
- ・（現状）若年のUターンに合わせて増改築することが多い。
- ・（現状）太陽光発電パネル設置には課題が多いため、新築でもZEHは取り組みがたい。
- ・（提案）若者定住促進×エコ住宅の新築・改修の促進

●運輸部門（EV車、石油燃料等）

- ・（現状）EV車等に関する正確な情報の提供、燃費向上につながるEcoメンテナンスの実施
- ・（現状）自動車業界全体としてガソリン車からEV車に切り替わっていく見込み
- ・（現状）大野市は災害が少ないので、EV車や蓄電池に災害活用としてのメリットがあることは、市民の認識が少ない、もしくは訴求しない。
- ・（現状）大野市民は長距離通勤ユーザーがいるので、低燃費志向。雪対応の4WD需要は一過性
- ・（課題）ガソリン車の新車販売終了の間際には、ガソリン車に対する駆け込み需要で、脱炭素とは逆のビジネスチャンスが発生する可能性大
- ・（課題）EV車はガソリン車に比べメンテナンス時の交換部品が少なく、自動車整備業には逆風。
- ・（課題）既存住宅は充電設備設置に制約がある場合もあるので、充電ステーションの拡充が必要
- ・（現状）EV車の普及によりガソリンスタンドが淘汰されていく見込み
- ・（課題）水素ステーションなど他エネルギー供給事業への転換は、設備投資費用が高く、後継者問題もあって、個々の事業者では取り組みがたい。

- ・(提案) カーシェア EV 車を代車として利用することによる普及啓発スキーム構築
- ・(提案) 車検やメンテナンス時の公共交通利用促進
- ・(提案) 公用車、公共交通バス等の EV 車への更新
- ・(提案) 保険料の減額などエコドライブ実践メリットの創出
- ・(提案) 他業界同士の連携による販売促進。(例 エコ住宅+太陽光発電設備+EV 車)

●エネルギー関係(木質バイオマス関係)

- ・(課題) 木質バイオマス発電の原材料となる間伐材等森林資源の確保が課題
- ・(課題) FIT 売電終了後の事業採算性の確保が課題
- ・(提案) 道の駅と連携した発電所見学ツアー
- ・(提案) 発電に伴い放出される CO<sub>2</sub> を活用した人工光合成による農作物育成促進